

「広島市スポーツ振興計画」に掲げた推進施策の主な取組状況について

【基本方針 1】

地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の振興

【施策のくくり】

市民が気軽にスポーツに親しむことのできる機会の提供と環境づくり

<平成24年度の主な取組>

- 各区スポーツセンターなどで、各種スポーツ教室やスポーツ相談、スポーツイベントを開催するとともに、広島市のホームページやスポーツ協会のホームページ・広報紙などを通じて、スポーツ施設やスポーツイベントについての情報提供を行った。

スポーツスクール事業（23種目、364教室、参加者延べ61,124人）
スポーツ体験事業（33種目、180回、参加者1,549人）
スポーツ活動促進事業（98事業、2,626回、参加者39,815人）
スポーツ相談事業（82事業、379回、参加者52,507人）
スポーツイベント事業（95事業、101回、27,647人）

- 広島に風土に適した総合型地域スポーツクラブの設立に向け、既設の総合型地域スポーツクラブの現状や課題を把握するため、文部科学省が実施した「平成24年度総合型地域スポーツクラブ活動状況調査」を活用し、調査結果をとりまとめた。（別添資料1）
- 利用者ニーズに応じた多彩で魅力あるスポーツ教室等の実施に向け、各種スポーツ教室等の現状や課題を把握するための施設利用者へのアンケート調査を実施した。（別添資料2）
- ひろしま情報a-ネット及びスポーツ・サポート・センターの効果的なPRや掲載情報の充実に向け、スポーツ協会との担当者会議を開催した。

健康づくり・体力づくりに向けたスポーツの振興

<平成24年度の主な取組>

- 子どもから高齢者までの健康づくり・体力づくりのため、親子で楽しむスポーツ教室やメタボリックシンドローム対策支援事業などを実施するとともに、各区スポーツセンターにおいて、広島市医師会と連携したスポーツドクター医事相談などを行った。

メタボリックシンドローム対策支援事業（参加者数 50人）
アクティブシニア対策支援事業（参加者数 104人）
スポーツドクター医事相談（13回、46人）

- 健康づくり・体力づくりに関する市民への情報提供等について、民間スポーツクラブとの連携方策の検討に向け、スポーツ協会が実施している「健康づくり・体力づくり事業」の現状を把握するための担当者会議を開催した。
- 管理栄養士、保健師等と連携した相談活動の実施に向け、相談活動の現状を把握するため、関係者による検討会議を開催した。

障害者のスポーツ・レクリエーション活動の促進

<平成24年度の主な取組>

- 障害者スポーツ大会や健康づくり教室を実施するとともに、心身障害者福祉センターにおいて、多様なスポーツ教室を実施した。
 - 障害者スポーツ大会
(陸上競技、水泳、卓球、フライングディスク、ボウリング、サッカー 参加者 延べ820人)
 - 健康づくり教室 (224回)
- 障害者がスポーツに親しみやすい環境づくりについて検討するため、「障害福祉に関するアンケート調査結果」等を活用し問題点を整理した。

地域における子どものスポーツ活動の促進

<平成24年度の主な取組>

- 広島市スポーツ少年団及び広島市小学生体育連盟の事業助成を実施した。
 - <スポーツ少年団>
スポーツ少年団交流事業
 - ・スポーツ少年団競技別交歓会の実施(17競技 34交歓会 参加者17,117人)
 - ・広島市スポーツ少年団大会の実施(14競技 14交歓会 参加者11,181人)
 - 国際・国内スポーツ交流事業
 - ・第39回日独スポーツ少年団同時交流等 (8件 188人)
 - <小学生体育連盟>
補助金交付
市小学生スポーツ交歓大会開催
- 関係団体が連携して行うことができる取組の拡充に向け、子どものスポーツ活動やスポーツボランティアの現状を把握するため、スポーツ協会との担当者会議を開催した。
- 地域スポーツ振興担当コーディネーターによる子ども会や児童館の事業等への効果的な支援策の検討に向け、事業等の現状を把握するため、関係者会議を開催した。

地域コミュニティの活性化や国際交流の推進に向けたスポーツの振興

<平成24年度の主な取組>

- 地域スポーツ振興担当コーディネーターが地域に出向き、地域のスポーツ活動の促進に向けた指導・助言を実施するとともに、市民レベルのスポーツ・レクリエーションの祭典として、スポーツ・レクリエーションフェスティバルや区民スポーツ大会を実施した。
 - また、シンガポール女子体操チーム(20人)を招き、シェイクファハド広島・アジア青少年スポーツ交流事業を実施した。(4年に一度)
 - スポーツ・レクリエーションフェスティバル (10月14日 参加者 70,174人)
 - 区民スポーツ大会 (5月 参加者延べ 14,510人)
- スポーツセンターの特色を生かした事業展開へ向け、スポーツセンター実施事業の現状を把握するため、スポーツ協会との担当者会議を開催した。

スポーツ・レクリエーション活動を支える組織や人材の育成

＜平成24年度の主な取組＞

- 学区体育協会が行う地域スポーツ振興事業に対し、補助金を交付した。また、スポーツ推進委員を小学校区に配置し、地域においてスポーツに関する指導・助言等を行うとともに、スポーツ推進委員の研究大会や研修等を実施した。

スポーツ推進委員（平成24年度末現在 379人）
 スポーツ推進委員研究大会（12月8日 参加者 250人）
 スポーツ推進委員リーダー研修等（延べ12回 参加者 742人）

- 学区体育協会の活性化に向けた取組を検討するため、補助金立入検査に合わせ、学区体育協会や区職員から学区体育協会の現状を聴取した。
- スポーツ推進委員活動の活性化に向け、現在の活動における問題点等を把握するため、スポーツ推進委員へアンケート調査を実施した。（別添資料3）

スポーツ・レクリエーション活動の場の整備・充実

＜平成24年度の主な取組＞

- 各スポーツ施設について、危険の程度などにより優先順位を見極め、計画的な改修等を実施した。また、学校のグラウンドや体育館を、地域住民のスポーツ活動等の場として開放する「学校体育施設開放事業」を実施した。

開放校 小学校 140校
 中学校 60校
 高等学校 1校

- 学校体育施設開放事業において、運営方法等の充実に向け、利用率の低い学校の原因を調査するための利用状況調査を実施した。（別添資料4）
- 少年硬式野球を行うことができる施設（仮称：岡田運動広場）の土地造成に係る実施設計等を実施した。